

新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館  
指定管理者

平成22年度 事業実績報告書

財団法人 新潟市芸術文化振興財団

## 1. 文化事業実績

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館などの特性を十分に活かし、音楽・演劇・舞踊の各分野で、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を実施するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を展開し芸術文化の振興に努めました。

また、市民芸術文化会館と音楽文化会館を芸術文化活動の拠点として、創造的な音楽・舞台芸術等を全国に向けて発信することにより、都市イメージの向上と都市の活性化を図りました。

### 【市民の文化活動への支援事業】

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図ったほか、文化団体との共催（支援）により全国規模の事業を実施しました。

クラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ2010」では、新潟市などで構成する実行委員会に参加し、構成団体等と連携しながら広範な集客を図りました。

#### ①第58回新潟市芸能まつり

平成22年10月～11月に音楽文化会館も含めて実施（共催）した。

#### ②「劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」

平成23年1月9日に実施（共催）した。

#### ③「ラ・フォル・ジュルネ新潟2010」

平成22年4月30日、5月1日に実施（共催）した。

### 【地域に根ざした文化の創造事業】

専門ホールの特性を活用した新潟発の舞台芸術を創造し、全国に向けて発信しました。

りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピアシリーズ「ハムレット」は、アイスランド火山噴火でルーマニア及びフランス公演を中止しましたが、ポーランドの国際シェイクスピア・フェスティバルからの招聘により海外公演を実施し、帰国のち、新潟市で凱旋公演を実施しました。

レジデンシャル・ダンス・カンパニーNoismは、Noism 1とNoism 2による初の合同公演を実施したほか、朝日舞台芸術賞受賞記念・キリンダンスサポート公演として見世物小屋シリーズ第1弾「Nameless Hands～人形の家」の再演を新潟、愛知、高知、横浜で実施しました。

また、海外公演では、12月にヨーロッパデビューとなるフランス・パリ公演を実施しました。

研修生カンパニーNoism 2は、2回目となる定期公演を実施し、23年度の県内公演に向けて、レパートリーを充実させました。

- (1) 能楽堂シェイクスピアシリーズ「ハムレット」2010 インターナショナル版
- ・ポーランド・グダンスク公演（2回） 平成22年8月7日・8日
  - ・新潟凱旋公演（2回） 平成22年9月10日・11日

(2) レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism

- ① Noism 1 & Noism 2 合同公演 劇的舞踊「ホフマン物語」（第13作公演）  
平成22年7月16日～18日
- ② 見世物小屋シリーズ第1弾 Noism 1 「Nameless Hands～人形の家」（再演）
  - ・新潟公演 平成22年11月5～7日、10日、11日、13～15日
  - ・愛知公演 平成23年2月2日・3日
  - ・高知公演 平成23年2月12日
  - ・横浜公演 平成23年2月16日
- ③ フランス公演「NINA-物質化する生け贄（ver.black）」  
平成22年12月2日～4日
- ④ Noism 2 春の定期公演 平成23年2月25日～27日
- ⑤ Noism ワークショップ
  - ・子どものためのからだワークショップ 平成22年4月25日
  - ・Noism バレエ 平成22年4月25日
  - ・大人のためのからだワークショップ 平成22年4月25日
- ⑥ Noism こどものためのからだワークショップ（山の下小学校受託事業）  
平成22年5月7日
- ⑦ Noism こどものためのからだワークショップ（ビュー福島潟主催）  
平成22年10月2日
- ⑧ Noism 大人のためのからだワークショップ（ビュー福島潟主催）  
平成22年10月2日
- ⑨ Noism バレエ（財団法人新潟県文化振興財団受託事業）  
見附市文化ホール（アルカディア小ホール） 平成23年1月22日

【質の高い専門性に富んだ舞台芸術を鑑賞する機会の場の提供】

音楽事業では、東京交響楽団との提携による、上質で幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい世界水準の演奏家の招聘や、オルガン、オペラ・コンサートなど音楽愛好者拡大のための演奏会、

さらには、音楽文化会館でのコンサートなど、多様な鑑賞の機会を提供することにより、聴衆のレベル向上と、拡大に努めました。

特に、21年度のハイドン没後200年を記念して開始した作曲家ツィクルスを継続し、22年度はハイドンに続く音楽史上の巨匠モーツァルトをテーマに、「りゅーとびあモーツァルト・ツィクルス」を開催し、新しい視点による企画で聴衆の関心を引き起こし、クラシック音楽のさらなる普及を図りました。

演劇事業では、多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場製作の作品及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能などの様々な舞台芸術を開催し、賑わいのある劇場空間の創造と観客の定着を目指しました。

能楽事業では、伝統に則った本格的な能舞台と劇場を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点を置いた公演と、能狂言に対する知識や興味を高める能楽講座を開催しました。

## (1) 音楽事業

### ① 東京交響楽団提携シリーズ

#### ・東京交響楽団新潟定期演奏会

第59回	平成22年5月9日	オール邦人作品プログラム
第60回	7月10日	ブルックナー：テ・デウム
第61回	9月5日	ショスタコービッチ：交響曲第1番
第62回	11月7日	ベートーヴェン：交響曲第4番
第63回	平成23年2月27日	スタンフォード：交響曲第3番

#### ・コンサートホールへようこそ～わくわくキッズコンサート～5回公演 平成22年11月9日・10日

#### ・東京交響楽団団員による学校訪問演奏～24小学校 平成22年10月19日・20日

#### ・特割コンサート 平成22年11月10日

#### ●東響定期+α 茂木大輔のオーケストラコンサート No.6 平成22年11月28日

### ② ピアノリサイタルシリーズ

・シリーズ22	クリスチャン・ツィメルマン	平成22年6月6日
●シリーズ23	平井千絵	平成23年2月5日

### ③ 歌の花束シリーズ

・シリーズ18	米良美一のほんのうた	平成22年10月9日
---------	------------	------------

④ カルテットシリーズ

● シリーズ20～22 クアルテット・エクセルシオ

- ～ モーツァルト弦楽四重奏曲連続演奏会 平成23年 1月18日  
2月22日  
3月2日

⑤ オルガンシリーズ

・ 山本真希リサイタルシリーズNo.10「10回記念」

平成22年 9月25日

・ 山本真希リサイタルシリーズNo.11

平成23年 3月12日

● C. マントゥー オルガン・リサイタル&マスタークラス

平成23年 2月23日・24日

・ オルガン・クリスマスコンサート

平成22年12月18日

・ 石丸由佳オルガン・リサイタル

平成23年 3月13日

⑥ りゅーとぴあオペラ劇場シリーズ

● りゅーとぴあオペラ劇場オペラコンサート2011

～幸田浩子&林美智子の極上のモーツァルト

平成23年 3月6日

⑦ その他

・ カルテット・スピリタス・スペシャルコンサート

平成22年 9月8日

・ 宮川彬良とアンサンブル・ベガ「お年玉コンサート」

平成23年 1月16日

・ 宮川彬良とアンサンブル・ベガ「ニューイヤー・コンサート」

平成23年 1月16日

・ バーデン市劇場 歌劇〈ラ・ボエーム〉

平成22年 9月12日

・ ロンドン交響楽団

平成22年11月27日

・ 櫻本大進&コンスタンチン・リフレツ

平成22年12月7日

(2) 演劇事業

・ 森山未来「カフカの“変身”」1回公演

平成22年 4月13日

・ 「第二十二回 ふるまち新潟をどり」2回公演

平成22年 6月20日

・ 「ナンシー」1回公演

平成22年 6月21日

・ 大衆演芸シリーズ①「喜武参之笑」1回公演

平成22年 8月2日

- ・ ナイロン100℃「2番目、或いは3番目」2回公演  
平成22年8月4日・5日
- ・ ホメロス「イリアス」1回公演  
平成22年9月25日
- ・ 「春風亭小朝独演会」（共催事業）1回公演  
平成22年10月1日
- ・ 白石加代子「百物語」1回公演  
平成23年1月15日
- ・ 大衆演芸シリーズ②「柳亭市馬独演会」1回公演  
平成23年2月5日
- ・ ミュージカル「アンナ・カレーニナ」（共催事業）1回公演  
平成23年2月11日
- ・ 新潟演劇祭プレ公演「流れ姉妹」2回公演  
平成23年2月26日・27日
- ・ 第一回 芸術のミナト☆新潟演芸祭 16回公演  
平成23年3月12日～21日

### (3) 能楽事業

- ・ 「春の能楽鑑賞会」（宝生流）2回公演  
平成22年4月10日
- ・ 「秋の能楽鑑賞会」（観世流）2回公演  
平成22年10月30日
- ・ 「野村万作・萬斎古典狂言公演」3回公演  
平成22年5月21日・22日
- ・ 「りゅーとぴあ劇場狂言」1回公演  
平成22年12月8日
- ・ 能楽基礎講座特別版スペシャル公演「雪見能」1回公演  
平成23年2月12日

### (4) 普及系事業

#### ① オルガン普及プログラム

- ・ りゅーとぴあオルガン講座
  - 入門講座  
市民オルガン講座……ポジティブオルガン使用の半年コース
  - 基礎講座  
ジュニアコース……大オルガン使用の半年コース  
一般コース……大オルガン使用の1年コース
  - 応用講座  
応用コース……大オルガン使用の1年コース
- ・ オルガン・サマーデイズ  
平成22年8月3日・4日
- ・ ニューイヤー・オルガンスペシャル  
平成23年1月15日
- ・ オルガン音楽隊  
(葛塚小) 平成22年6月24日  
(臨港病院) 平成22年12月10日

② 1 コインコンサート

- ・ Vol. 45 「声楽」 平成22年4月7日
- ・ Vol. 46 「ヴァイオリン」 平成22年5月28日
- ・ Vol. 47 「オルガン」 平成22年6月25日
- ・ Vol. 48 「ギター」 平成22年9月17日
- ・ Vol. 49 「フルート」 平成22年10月8日
- ・ Vol. 50 「ピアノ」 平成22年12月2日

③ プライム・クラシック 1500

- ・ Vol. 7 「ヴァイオリン&ピアノ」 平成22年5月28日
- ・ Vol. 8 「ピアノ」 平成22年12月2日

④ りゅーとびあランチタイム・ガラコンサート 平成22年9月8日

⑤ 市民音楽講座（おんぶんりレーコンサート）

平成22年11月19日～21日

⑥ 「能楽基礎講座特別版」3回

平成22年7月15日  
9月5日  
12月11日

⑦ 観世流能楽鑑賞教室（共催事業）1回公演 平成22年9月25日

⑧ 能楽ワークショップ①（囃子）～二葉中、入舟小、りゅーとびあ（親子対象）

平成22年6月4日・5日

⑨ 能楽ワークショップ②（狂言）～りゅーとびあ（親子対象）、亀田西小・

平成23年1月23日・24日

⑩ 「さわってみよう能の世界」1回

平成23年3月30日

【文化を支える人材育成事業】

人材育成事業では、音楽系の3教室とともに、演劇スタジオキッズコースを引き続き運営しました。

(1) 音楽系育成事業

① にいがた東響コーラス

平成22年4月～7月

② ジュニアオーケストラ教室育成事業

・ 第29回定期演奏会

平成22年9月19日

・ クリスマス演奏会

平成22年12月23日  
(音文)

③ ジュニアオーケストラフェスティバル2010

平成22年 8月20日～22日

④ ジュニア合唱団育成事業

- ・ 第20回定期演奏会 平成22年 7月18日
- ・ 新潟県少年少女合唱団合同演奏会 平成22年 8月21日  
(見附市)
- ・ ラ・フォル・ジュルネ 平成22年 5月 1日
- ・ 骨髄移植推進財団イベント 平成22年 9月12日  
(市民プラザ)
- ・ 新潟市中央区社協まつり 平成22年10月31日  
(福祉会館)
- ・ 関屋小学校PTAイベント 平成22年11月 7日  
(関屋小)
- ・ オルガン音楽隊コンサート 平成22年12月10日  
(臨港病院)
- ・ 朝日酒造クリスマスコンサート 平成22年12月11日  
(朝日酒造)

⑤ ジュニア邦楽育成事業

- ・ 第15回定期演奏会 平成22年 8月 1日  
(音文)
- ・ 中国(斉南)子どもフェスティバル参加演奏  
平成22年 7月 2日～ 7日
- ・ APEC閣僚夕食会演奏 平成22年10月16日
- ・ 関屋小学校区コミュニティ協議会 新年お楽しみ会  
平成23年 1月16日

⑥ ジュニア音楽教室第7回スプリングコンサート 平成23年 3月27日

(2) 演劇系育成事業

演劇スタジオキッズコース APRICOT

- ・ 夏季公演「恋ものがたり」3回公演 平成22年 8月15日・16日
- ・ 春季「ホンゴル」～愛しきもの 2回公演 平成23年 3月27日



## 【自主企画事業を支援するための事業】

### (1) 広報営業事業

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、並びに企業協賛の募集など、広報・営業活動を効果的に展開して、集客を図りました。

また、新鮮な会館情報を広く発信し、会館の知名度の拡大とイメージアップに努めました。

### (2) 専門家の活用事業

音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施しました。

また、専属オルガニストを引き続き配置しました。

### (3) 調査研究事業

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進のホールや公演などについて調査し、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努めました。

### (4) 事業管理事業

チケット専用センター運営事業、託児サービス運営事業、友の会運営事業などを引き続き実施しました。

## 2. 施設の管理運営業務実績

### 【運営に関する基本的な考え方】

#### ◆ 市民芸術文化会館・音楽文化会館共通

施設の維持管理については、次の3点を基本的な考え方としながら、会館の機能を最大限に維持すること、衛生的で品位のある施設を維持することに努めました。

- 1 限られた予算の中で設備の故障リスクを最小限に抑えるために、メンテナンス方法を予防保全と事後保全に分け、効率的な維持管理を行う。

※ 予防保全：故障が発生しないように行うメンテナンス方法（日常点検・定期点検、部品の寿命を考慮した部品交換）

※ 事後保全：設備が故障してから修理を行う方法

- 2 建物の衛生的環境を維持するため、法令に従い必要な測定・調査・清掃を行い、安心・安全な施設を維持する。

また、建物の清掃を行うほか、損傷した壁や設備などを補修することで、美観の維持に努める。

- 3 管理業務の一層の効率化を図り、最小の経費で最大の効果が生ずるよう心掛ける。

- ・ 委託業務のさらなる仕様見直し
- ・ 市民芸術文化会館と音楽文化会館の管理の一元化（継続実施）
- ・ 設備運転管理業務と警備業務の統合管理（継続実施）  
～ 市民芸術文化会館：H21～23年の複数年契約

#### ◆ 市民芸術文化会館

ホール等の運営については、ショップで扱うグッズやインフォメーションの充実を図るとともに、レストラン・ビュッフェ、展望ラウンジなど多様な飲食コーナーを配置して、催し物の利用者だけでなく、全ての来館者の皆さまが快適に過ごしていただけるよう努めました。

また、レストランにおいて、「食育の日特別メニュー」を提供したほか、11月～12月には、2階共通フロアに、職員が手づくりでクリスマスの飾りつけを行うなど、一層のサービス向上を目指しました。



クリスマスの飾りつけ（職員の手づくり）

また昨年に引き続き、市民の方々に施設に触れる機会を提供し、身近に感じていただくために、バックステージツアーを企画し、市民に愛される施設となるよう努めました。

年度	回数	参加者数
H22	3企画・6回	321人
H21	3企画・6回	250人

◆ 音楽文化会館

昨年に引き続き、市民にステージの雰囲気味わっていただく体験イベントの「気軽に音ステージ」と「リレーコンサート」を企画し、多くの市民の参加を得ました。

年度	気軽に音ステージ		気軽に音ステージ	
	出演者数	楽器体験者数	出演者数	楽器体験者数
H22	79人	367人	318人	676人
H21	83人	341人	312人	549人

その他、12月には、2階玄関に職員が手づくりでクリスマスの飾りつけを行いました。

★ 東日本大震災

- ・ 平成23年3月に発生した「東日本大震災」の施設への影響はごく軽微でしたが、なお安全性を確保するため、舞台を中心に、きめ細かい施設・設備の点検を実施しました。
- ・ 施設利用の面では、交通機能の麻痺、電力の不安定供給、自粛ムードなどにより、予定していた催し物の中止・延期が生じました。  
市民芸術文化会館においては、自主事業で「能楽基礎講座」、「佐渡裕指揮BBCフィルハーモニックwith辻井伸行」が中止、「東京交響楽団第64回定期演奏会」が延期となり、一方、貸館事業では、8件の中止と6件の延期が生じ、合わせて17の事業が影響を受けました。  
また音楽文化会館では、貸館事業で中止2件、延期4件が生じました。

【業務内容】

(1) 貸館事業

◆ 市民芸術文化会館

[計画と目標値との比較]

	稼働率			入場者数	
	目標値	実績	差	目標値	実績
コンサートホール	82.0%	90.7%	8.7%	334,000人	347,507人
劇場	78.0%	90.7%	12.7%		
能楽堂	53.0%	42.1%	-10.9%		

[平成21年度実績との比較]

	稼働率			入場者数	
	H21	H22	差	H21	H22
コンサートホール	83.3%	90.7%	7.4%	337,011人	347,507人
劇場	81.7%	90.7%	9.0%		
能楽堂	55.7%	42.1%	-13.6%		

[分析（理由）]

① コンサートホール

東日本大震災による公演の中止等があったが、自主事業数の増加や22年度から新たに実施された「ラ・フォル・ジュルネ」などにより、前年度と比較して利用率が上昇している。

② 劇場

自主事業の拡大により利用件数が増加しており、特に22年度から新たに、新潟の地元劇団が参加する「第一回 芸術のミナト☆新潟演劇祭」が開催され、10日間で16回の公演があった。

③ 能楽堂

海外公演に向けて、「能楽堂シェイクスピア・シリーズ」を劇場バージョンに一時切り換えたことにより、前年度と比較して利用率が低下し、目標値を下回った。

※ 23年度は、能楽堂で実施の予定。

④ 入場者数

22年度は「自主事業」を重点的に実施したことにより（対21年度・20事業の増）、前年度と比較して約5千人の増となっている。

一方「貸館事業」では、ギャラリーにおいて「第77・78回書壇院展」や「ARTWAVE 2010 in新潟」という集客力の高い催し物が開催されたことなどにより、同じく約5千人増加し、合計で1万人強の増（3.1%増）となった。

⑤ 歳入： 目標値に比べ、3,773千円の増（目標値 68,000千円）

◆ 音楽文化会館

[計画と目標値との比較]

	稼働率			入場者数	
	目標値	実績	差	目標値	実績
ホール	74.0%	75.9%	1.9%	181,000人	181,550人

[平成21年度実績との比較]

	稼働率			入場者数	
	H21	H22	差	H21	H22
ホール	72.5%	75.9%	3.4%	180,196人	181,550人

[分析（理由）]

① 稼働率

21年度では、前年度と比較して稼働率が低下していたが、22年度では上昇に転じ、目標値を上回った。

② 入場者数

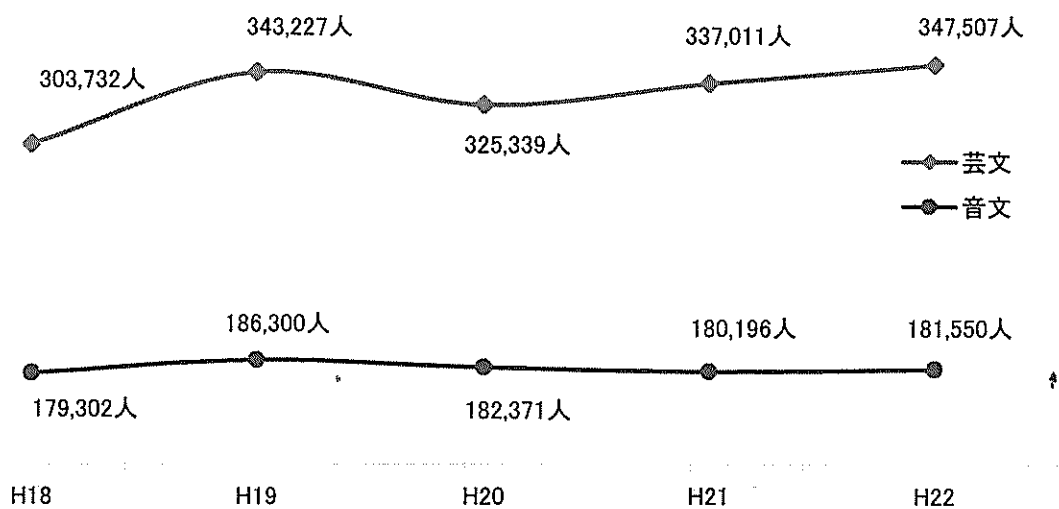
入場者数は、前年度比較で1,300人ほど増加し、目標値を達成した。

③ 歳入： 目標値に比べ、1,454千円の減（目標値 35,500千円）

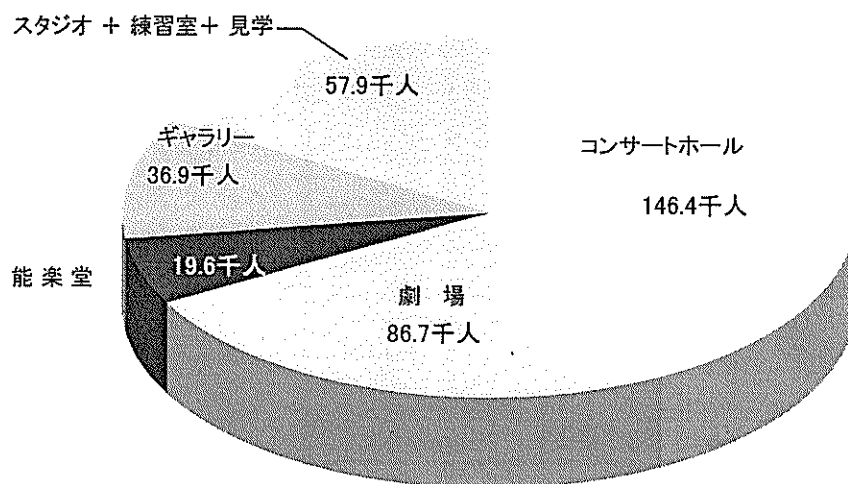
※ 両館とも、平成20年8月から、新潟市の公共施設予約システムを導入したことにより、施設の空満情報をインターネット上で見ることができ、市民の施設利用申し込みの利便性が向上した。

【参考】

入館者数の推移



平成22年度 芸術文化会館入館者内訳



## (2) 貸館利用受付時間

公平性を遵守しながらも、市民サービスを基本に考えて、柔軟な対応を図りました。

- ◆ 市民芸術文化会館：土日を含む毎日9:30～18:00（休館日を除く）
- ◆ 音楽文化会館：土日を含む毎日9:00～17:00（休館日を除く）

## (3) 登録レセプションニストの配置

- ・ 登録レセプションニストの配置については、公演の円滑な進行とお客様の快適性、そして効率性に配慮しながら運営しました。

また、外部講師による研修や職場内研修を実施し、スキルアップを図ることなどにより、主催者・鑑賞者双方から、接客の姿勢について高い評価をいただいております。

- ・ ゆとりのある稼働体制の整備のため、第8期登録レセプションニスト採用試験を実施しました。（受験者数32名、合格者23名）

★ 業務：客席案内、クローク業務、ビュッフェ業務、チケット確認等

★ 研修：外部講師による基礎・専門研修、危機管理研修・訓練等

	レセ登録数 (翌年4/1現在)	稼働数	延べ稼働人員
22年度	52人	282公演	4,376人
23年度	47人	314公演	5,219人

## (4) 舞台技術スタッフによるサービス

### ◆ 市民芸術文化会館

公演時に求められる高度な演出を実現するため、会館の舞台技術スタッフが仕込み段階から主催者をサポートしています。

設備の操作については、危険度の高い舞台機構は当館の技術スタッフがすべて行い、音響・照明設備は主催者側スタッフ（市民、外部専門スタッフ）に技術指導（一部補助操作）を行うなど、サービスの向上に努めました。

なお、安全第一の舞台運用と演出ノウハウの支援・指導については、主催者及び関係スタッフから大きな信頼と好評をいただいております。

### ■ スキルアップ

新潟発創造事業、育成事業に積極的に参加し、創作活動の経験と遠征公演での経験が、舞台技術の大きな蓄積となっています。

◆ 音楽文化会館

昨年に引き続き、ホール等に会館の舞台技術スタッフを配置し、準備作業や本番の操作をアドバイスすることで、市民の舞台づくりを支援しました。

(5) 飲食サービスの提供

◆ 市民芸術文化会館

3階レストラン「リバージュ」はイタリア料理を中心とした豊富なメニューを取り揃えて、来館した多くのお客様に飲食サービスを提供しました。

市の事業「食育の日」には、地元の食材を盛り込んだメニューを用意したり、クリスマスシーズンに特別メニューを用意するなど、工夫を凝らしたサービスで利用者から好評をいただきました。

2階「セーリングカフェ」は、公演前のお客様に向けた軽い食事や喫茶メニューを用意しております。

6階展望ラウンジでは、「旬彩 柳葉亭」が、旬の食材を用いたお料理や飽きの来ないメニューを提供し、年代にかかわらず幅広い客層から、気軽に利用できるとご支持をいただいております。

また、コンサートホール、劇場及び能楽堂のビュッフェを年間261公演で営業（直営）し、開演前や休憩時のドリンク、サンドイッチなどのサービス提供に努めました。

◆ 音楽文化会館

22年度より、2階の喫茶レストラン「Kitchen & Cofe コル」が営業を開始し、ランチや喫茶メニューを提供しています。

また館内では、各階に飲料用の自動販売機を設置して、引き続き来館者へのサービス提供を図りました。

(6) インフォメーションセンター、ショップの設置

◆ 市民芸術文化会館

インフォメーションセンターでは、白山公園一帯の情報提供、館内の様々な問い合わせへの対応、自主事業や貸館公演チケットの販売、ショップの運営（主に受託販売）など、幅広いサービスの提供に努めました。

貸館公演のチケット販売につきましては、102件の依頼を受け、受託枚数7,252枚に対して、4,838枚を販売しました。

ショップでは、音楽や演劇などに関連した魅力あるグッズの提供に努め、会館のイメージアップに寄与しています。

◆ 音楽文化会館

事務室で貸館公演チケットの販売を行い、年間27件の依頼を受けました。



### 3. 館全体の目標値

【館船体の目標値及び実績】

※ ( ) 内：目標値

施設名		平成22年度			
		稼働率	稼働日数	入場者数	歳入
市民芸術文化会館	コンサートホール	( 82.0% )	( 250日 )	( 334,000人 )	( 68,000千円 )
		90.7%	253日		
	劇場	( 78.0% )	( 226日 )	347,507人	71,773千円
		90.7%	244日		
	能楽堂	( 53.0% )	( 172日 )	347,507人	71,773千円
		42.1%	125日		
音文	ホール	( 74.0% )	( 210日 )	( 181,000人 )	( 35,500千円 ) <sup>△</sup>
		75.9%	227日	181,550人	34,046千円

(参考) 平成21年度実績

施設名		平成21年度			
		稼働率	稼働日数	入場者数	歳入
芸文	コンサートホール	83.3%	254日	337,011人	78,087千円
	劇場	81.7%	237日		
	能楽堂	55.7%	181日		
音文	ホール	72.5%	206日	180,196人	35,499千円